

1. 施設の名称等

施設名称	長崎県営野球場
所在地	長崎市松山町2400番地1

事業所管	教育庁	体育保健課
課(室)長名	松崎 耕士	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	—
	施策	—
	事業群	—

2. 施設の概要

設置年月日	平成9年7月20日
設置法令等	長崎県体育施設条例第1条（昭和39年3月25日）
設置目的	県民の体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図るため。
利用対象者等	利用対象：特に制限なし 開場時間：午前8時30分～午後9時00分（利用時間：午前9時～午後9時） 休業日：毎月第3火曜日（12月～2月は毎週火曜日）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	球場面積 33,861㎡（グラウンド面積13,481㎡）ロングパイル人工芝 両翼99.1m 中堅122m 収容人員 約25,000人

施設の利用料金体系	使用区分		単位	金額(単位:円)		
	野球場	アマチュアスポーツで使用する場合で入場料無料の場合				
	児童生徒	土曜日、日曜日及び休日	午前9時～午後1時	1回	6,040	
			午後1時～午後5時			
		その他の日	午後5時～午後9時		1,810	
			時間外1時間につき		5,040	
	その他の団体	土曜日、日曜日及び休日	午前9時～午後1時		1,520	
			午後1時～午後5時			12,040
		その他の日	午後5時～午後9時			
			時間外1時間につき			10,080
		午前9時～午後1時		3,030		
		午後1時～午後5時				
		午後5時～午後9時				
		時間外1時間につき				

類似施設の設置状況	長崎県営野球場	みどりの森県営野球場(佐賀)	藤崎台県営野球場(熊本)	
	R2利用者(人)	42,929	20,553	30,094
	指定管理者制度導入時期	H18.4.1	H22.4.1	H18.4.1
R2管理運営費負担金(千円)	38,027	123,061	122,211	

※みどりの森県営野球場(佐賀県)については、野球場のほか、テニスコート、アーチェリー場、その他公園施設を含んでいる。

区	分	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
県	財源	国庫					
		その他(諸収入)	41,238	44,007	44,591	43,035	53,318
予	一般財源						
	事業費<A>		41,238	44,007	44,591	43,035	53,318
算	内訳	管理運営負担金	41,238	44,007	44,467	43,035	53,318
		その他(施設修繕)			124		
		人件費					
		合計<C=A+B>	41,238	44,007	44,591	43,035	53,318
		単位あたりコスト	0.35	0.38	0.34	1.00	

(説明) 「当施設を利用する1人当たりのコスト」= C ÷ (年間利用者数)

3. 指定管理者の概要

指定管理者の名称等	《所在地》	長崎市湍町2番25号				
	《名称》	長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社				
	《代表者氏名》	代表取締役社長 大熊 稔幸				
指定期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日					
業 務	①施設の利用に関する業務 ②施設等の管理に関する業務 ③県民の生涯スポーツの振興のための業務 ④競技力の向上を支援する業務 ⑤スポーツ医学の推進及び調査・研究に関する業務 ⑥災害時等の緊急対応に関する業務					
利用料金制	■ 導入済	未導入	選定方法	■ 公募	非公募	

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	① 年間利用者	(目標値の根拠)		《令和3年度実施における変更点》				
	②	①過去5カ年実績の平均 ※プロ野球1試合当たりの 人数を加算する。		①令和2年度の実績から令和3年度11月から2月に予定している人工芝張替工事期間の利用者数(令和2年度同時期の利用者数)を差し引いた人数。				
	③							
	実 績		平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画)	
	単 位							
	①	a 目標値	人	135,000	130,000	134,400	124,800	32,700
		b 実績値	人	115,401	114,915	130,999	42,929	
		c 達成率b/a	%	85	88	97	34	
	②	a 目標値						
		b 実績値						
c 達成率b/a		%						
③	a 目標値							
	b 実績値							
	c 達成率b/a	%						
指定管理者の収支状況	事業計画 (R2) (千円) 実績-計画		平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画)	
利用料金	50,152	▲ 14,396	72,301	73,853	58,101	35,756	38,800	
県負担金	38,027	5,008	41,238	44,007	44,467	43,035	37,738	
その他		0						
収入計a	88,179	▲ 9,388	113,539	117,860	102,568	78,791	76,538	
支出b	88,179	▲ 10,815	98,402	103,172	99,550	77,364	76,612	
うち人件費	20,938	2,027	18,045	17,390	19,251	22,965	20,380	
収支a-b	0	1,427	15,137	14,688	3,018	1,427	▲ 74	
配置職員数	常勤 6	常勤 0	常勤 5	常勤 5	常勤 5	常勤 6	常勤 6	
(人)	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	

5. 令和2年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画	実 績
	<指定管理者実施分> ■施設の利用 ①開場時間の弾力的運用 ②野球場・会議室のPR活動 ③施設の見直し ④プロ野球誘致活動	<指定管理者実施分> ■施設の利用 ①大会時等に利用者から要望があった場合には、開場時間を早める等して対応。(実績延べ78件) ②野球場・会議室の利用促進のためにチラシ等を作成し関係機関等へ配布した。 ・小学校、高等学校の遠足利用 (実績 小学校・高等学校2件) ・ナイター照明点灯利用 (実績 延べ29件) ・会議室利用 (実績 延べ227件) ③防球ネットの補修や野球場正面、車椅子用スロープ入口の段差補修などを行った。 ④プロ野球球団や関係機関に対し試合開催の誘致活動を行った。

管理運営の状況

■施設の維持管理
①施設の維持管理

②清掃等の管理業務の実施

③安全E C Oパトロールの実施

■施設の維持管理
①各種設備は業者への業務委託による実施のほか、設備担当職員が施設点検として日に2~3回巡回、設備点検についても運転監視と併せて日に数回巡回。
②日常・定期清掃の業者への委託のほか、高木剪定・草刈等はスタッフで実施。
③危険箇所や修繕必要箇所確認、省エネ活動点検を実施。

■生涯スポーツの振興
①家族ふれあいスポーツ教室の開催

②還暦野球大会への支援

■生涯スポーツの振興
①スポーツに苦手意識がある子ども達や運動機会が少ない大人を対象に実施を予定したが新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止。
②還暦野球大会事務局と連携し、生涯スポーツの振興に努めた。

■競技力向上の支援
①野球教室の開催

■競技力向上の支援
①競技力向上、青少年健全育成を目的に野球教室開催。
・プロ野球OB、三菱重工長崎硬式野球部OB等
(中学生32名参加)

■自主事業によるサービスの提供
①プロ野球選手自主トレーニングの誘致

②大学野球キャンプの誘致

③高校生交流試合の開催

④フットサルコートの開設

■自主事業によるサービスの提供
①プロ野球選手の自主トレーニングを誘致し、シーズンオフの利用拡大を図る。
②全国3大学の春季キャンプを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催中止。
③県高野連と連携し、県内の離島高を中心とした交流戦開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止。
④県民の余暇活動推進、青少年健全育成のため野球のシーズンオフを利用し、フットサルコートを設置し貸し出しを実施。
(約1ヶ月間設置 利用回数延べ3回)

⑤B i g N無料見学会の実施

⑥幼稚園、小学校への貸し出し

⑤修学旅行、社会科見学、生涯学習等での見学を積極的に受け入れ、スタッフが施設を案内する見学会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施を見送り。
⑥地域連携、学校教育支援を目的に、学校行事の昼食場所等でスタンドを開放。(利用実績18回)

■職員研修
①ビジネスマナー研修の実施

②緊急対応要領研修の実施

③コンプライアンス研修の実施

■職員研修
①施設勤務スタッフ全員を対象に顧客満足度をアップさせるためのビジネスマナー研修等を実施。
②施設勤務スタッフを対象に実施。
・消防訓練(2回)
③法令遵守、企業倫理遵守を目的に施設勤務スタッフ全員に実施。
・個人情報保護マネジメントシステムに関する研修(1回)
・情報セキュリティに関する研修(5回)
・コンプライアンス全般に関する研修(4回)

<県実施分>

<県実施分>

検 証

・指定管理者としての業務は、協定等に沿って適正に実施されており、民間の視点による利用者サービスの向上等が図られている。
・年間利用者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、目標値124,800人に対して実績値42,929人と大幅な減少となったが、国のガイドラインに留意し、利用者へ手洗いや手指の消毒の呼びかけ等を行いながら、事業を実施している。
・利用頻度の少ない曜日・時間帯の自主事業の開催や、野球以外のフットサルコートや学校行事での利用等、積極的に施設の効用発揮に努めている。
・単なる体育施設の貸し出し業務に終わることなく、野球教室やスポーツ教室の開催等、人工芝のグラウンドを広く県民に開放する工夫が行われている。
・ビジネスマナー研修の開催や利用者からのご意見に対する速やかな対応など、利用者に喜んでいただける施設を目指すという姿勢が伺える。

収支計画・実績

<指定管理者実施分>

(単位：千円)

主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等
収入 a	88,179	78,791	
うち利用料	50,152	35,756	新型コロナウイルス感染症による利用者の減による。
うち負担金	38,027	43,035	新型コロナウイルス感染症対策に伴う負担金の増による。
支出 b	88,179	77,364	
うち人件費	20,938	22,956	職員数の増による。
うち管理費	29,744	25,737	利用者の減に伴う光熱水費の減。
うち委託料	37,497	28,671	業者選定の際の入札減による。
収支a-b	0	1,427	

検 証

・利用料収入は、新型コロナウイルス感染症拡大による利用者数の減のため、計画額50,152千円に対して実績35,756千円で大幅に減少した。
 ・支出については、委託業者選定の際の入札減や新型コロナウイルス感染症による利用者の減に伴う光熱水費の減などに伴う管理費の減より、予定額88,179千円に対して77,364千円の実績となった。

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価

B

(説明)

・指定管理者の導入目的のひとつである利用者サービスの向上については、民間の視点からさまざまな工夫が行われており、新型コロナウイルス感染症により利用者数は減少したものの、事業の取り組み自体は利用者の増加に繋がっていることから導入効果は著しいと判断される。
 ・もう一つの導入目的である管理経費の縮減については、可能なものは職員が行い、業者への委託経費の削減を行う等、直営時よりも大きく縮減されている。
 ・少ない経費でより良いサービスの提供が行なわれるとともに、利用者の平等利用に配慮しながらも、公共性の高い利用への優先性の考慮や公益性に配慮した減免措置の実施など、設置目的に沿った管理運営がなされている。

6. 令和3年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容

・施設利用者の利便性を考慮し、共有スペース、会議室などへのW i - F iを導入する。
 ・新規ホームページを立ち上げるにより、より情報発信しやすい環境を整備し、利用者にタイムリーな情報を提供できるようにする。
 ・競技力向上に寄与するため、県内の学校等で、正しいグラウンド整備・グラウンド作りの指導を実施する。

7. 令和3年度事業の評価

※評価区分 (a : 行われている、b : 一部行われていない、c : 行われていない)

視点	評価	判定理由
・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	・野球場として適切な管理運営が行われており、プロ野球の誘致も新型コロナの感染状況を踏まえながら行っている。
・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	・長崎県公共施設予約システムにより機械抽選で利用者が決定されている。(全国大会・九州大会・県大会等の優先利用についても確保されている。)
・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	・単なる野球施設の貸出しに終わることなく、野球教室やスポーツ教室の提供の他、イベント利用も積極的に行っている。 ・利用者アンケートを実施する等、利用者のニーズに応えるよう努めている。
・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a	・定期的な巡回による管理が行われており、特に利用者の事故防止を最重要課題として取り組んでいる。
・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a	・利用者サービスを収入増に結びつける各種取組と、利用者増のためのPR活動や営業活動を実施している。
・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	・職員ができることは職員でとのスタンスにより、全体的な経費の削減に取り組んでいる。
(その他の観点)		

収支の状況

指定管理者の行う管理運営等に関する評価

		視点	評価	理由
施設の在り方についての評価	必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている	・県営の野球場として、キャンプ地としての利用の他、全国・九州・県大会等の会場としてプロ・アマ問わず活用されている。
		・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない	・近年、県民の競技力向上及び生涯スポーツへの取り組みは益々活発になっており、必要性も増している。
		・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	■ a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である	・県を代表する野球場として、プロ野球公式戦をはじめ全国・九州規模の大会等にも十分対応できることから、今後も県内体育施設の中心的施設として県が担う必要がある。
	効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない	・県負担額は大幅に削減されたうえで、利用者サービス向上を含め、従来にも増した事業展開が行われている。
		・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる	・指定管理者制度の導入により、県負担額は大幅に削減されたうえで、従来にも増した事業展開により、利用者の増につながっている。管理運営の経費削減の実効性等から見ても指定管理者制度が有効に機能していると考えられる。
	有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない	・関係機関と連携しさまざまな自主事業を実施するなど、利用者サービスの向上に努めており、県民の体育の振興に寄与している。
・事業効果をさらに上げる余地はないか。		■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある	・提案された計画を、県が内容検討のうえ承認し、事業はその計画に沿って実施されている。施設は指定管理者制度導入前よりも利用者も増え、以前にも増して活性化している。	
(その他の観点)				

8. 令和4年度事業の実施に向けた方向性

区分	現状維持	■ 改善	移管	廃止
(説明：令和4年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)				
<ul style="list-style-type: none"> ・野球場や会議室の運営、施設設備の保守点検や清掃等の管理業務については、協定書に基づき適正に行われており、今後も利用者へのサービス向上を図りながら適正な管理運営を行っていく。 ・今後も長崎県の野球競技の中心施設として、プロ野球の開催やイベントの誘致に努めるほか、大会主催者や関係機関等と連携し、円滑な大会運営に協力するなどの取組によって利用者数の増を図り増収に努める。 また、オフシーズンのプロ野球選手の自主トレーニング利用や大学・社会人野球の合宿の誘致、自主事業の充実等により新たな利用の拡大を図る。 ・なお、新型コロナウイルスの感染状況を引き続き注視し、さらに感染症対策を徹底しながら事業を実施していく。 				